

“アマビエ” チャレンジ

してみよう！



©いらすとや

「アマビエ」って 知っていますか？

流行病から人々を遠ざけるお守りとして、今、話題になっている妖怪です。SNS 上には、新型コロナ感染症の流行が静まるようお願いを込めた「アマビエ」のイラストを投稿する人が増えているそうです。「ゲゲゲの鬼太郎」の作者の、水木しげる先生の原画も公開されています。みなさんも、描いてみたくなりませんか？

かみの毛の長い人魚のような姿

鳥のクチバシのような口があり

かみの毛の間から耳がのぞいている

体はウロコにおおわれ、

足はなく、尾びれのようなモノが3本



<保護者の皆様へ>

「アマビエ」の詳しい説明です。

江戸時代の摺り物（今の新聞みたいなモノ）に、“江戸時代、今の熊本県の海の中に、毎晩のように光っているモノがあったので、役人が確かめに行ったところ、海に住む「アマビエ」と名乗る妖怪があらわれて「これから6年間は豊作が続くが、病気が流行するので自分の姿をうつしみんなに見せるように」と告げて海中に消えた”という文章がありその横に、その姿が描かれていたそうです。

「アマビエ」の再来は江戸時代の迷信の再来にも見えますが、「アマビエ」の絵姿で病を避けることができなくても、妖怪の伝承で遊ぶことで、沈んだ気持ちを少しでも変えていこうという、心のゆとりにつながるように思えます。